



### ③〇 中高 美術科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチックの消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「美術」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
  - ア. 小問の解答番号は1から44までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
  - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
  - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
  - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

|      |        |     |    |
|------|--------|-----|----|
| フリガナ | コウベタロウ | 教科名 | 美術 |
| 名前   | 神戸太郎   |     |    |

数字で記入……

| 受験番号  | 小問番号 | 解答記入欄<br>1 - 25     | 小問番号 | 解答記入欄<br>26 - 50    | 小問番号 | 解答<br>51 |
|-------|------|---------------------|------|---------------------|------|----------|
| 12340 | 1    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 26   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 51   | 0 0 0 0  |
|       | 2    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 27   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 52   | 0 0 0 0  |
|       | 3    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 28   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 53   | 0 0 0 0  |
|       | 4    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 29   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 54   | 0 0 0 0  |
|       | 5    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 30   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 55   | 0 0 0 0  |
|       | 6    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 31   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 56   | 0 0 0 0  |
|       | 7    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 32   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 57   | 0 0 0 0  |
|       | 8    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 33   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 58   | 0 0 0 0  |
|       | 9    | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 34   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 59   | 0 0 0 0  |
|       | 10   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 35   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 60   | 0 0 0 0  |
|       | 11   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 36   | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 61   | 0 0 0 0  |

【1】平成30年4月から小学校、特別支援学校小学部、平成31年4月から中学校、特別支援学校中学部で全面実施される一部改正学習指導要領の「特別の教科 道徳」（道徳科）について、下の問いに答えよ。

(1) 「道徳科の目標」について、次の(ア)から(ウ)に入る適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

【道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる（ア）を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（\*広い視野から）（イ）に考え、自己（\*人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的（ウ）、心情、実践意欲と態度を育てる。

（\*は、中学校、特別支援学校中学部に追加）

- |         |           |       |
|---------|-----------|-------|
| ① アー感性  | イー一面的・一方的 | ウー理解力 |
| ② アー道徳性 | イー多面的・多角的 | ウー判断力 |
| ③ アー社会性 | イー一面的・一方的 | ウー判断力 |
| ④ アー道徳性 | イー一面的・一方的 | ウー理解力 |
| ⑤ アー社会性 | イー多面的・多角的 | ウー判断力 |

|     |   |
|-----|---|
| (1) | 1 |
|-----|---|

(2) 「道徳科に関する評価」について、正しい文を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 指導要録等に評価を数値で表記する。
- ② 他の児童生徒と比較した相対評価を行う。
- ③ 学習指導過程では、授業者の主観に基づく評価を資料とする。
- ④ 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価として行う。
- ⑤ 発達障害等の児童生徒についての配慮すべき観点等は、授業者が理解しておけばよいので、学校や教員間で共有する必要はない。

|     |   |
|-----|---|
| (2) | 2 |
|-----|---|

(3) 道徳が教科化されるにあたり、正しい文を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 授業時数が、年間35（小学校1年生は34）時間から年間70時間に増加する。
- ② 新たに道徳教育推進教師を設けることとする。
- ③ 主たる教材として教科用図書を使用する。
- ④ 道徳の教員免許状をもった教員が授業をする。
- ⑤ 教科用図書以外の教材で授業をしてはならない。

|     |   |
|-----|---|
| (3) | 3 |
|-----|---|

【2】 パブロ・ピカソとその作品について下の問いに答えよ。

(1) ①～⑤はパブロ・ピカソの作品である。下の問いに答えよ。

①

②

③

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

④

⑤

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(ア) 「ゲルニカ」と同時期に制作された作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

(イ) 陽気さと悲しみを灰色がかった桃色で描いた『バラ色の時代』とよばれる時代に制作された作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ウ) キュビズムの出発点といわれる作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

(エ) 作品①～⑤を制作された年代順に並べた時に、最後から2番目の作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

|     |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| (1) | (ア) | 4 | (イ) | 5 | (ウ) | 6 | (エ) | 7 |
|-----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|

- (2) 時代や社会のできごとが作家の制作のきっかけとなることがある。ピカソと作品「ゲルニカ」について書かれた①～⑤の文の中から適切でないものを選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① ピカソは、スペインの古都ゲルニカで行われた非道な暴力を告発するために、「ゲルニカ」を描いた。
- ② ピカソは、「ゲルニカ」制作に多くの時間を費やし、2年間かけて完成させた。
- ③ ピカソは、「ゲルニカ」を描いているうちにアイデアがふくらみ、構図の変更が繰り返された。
- ④ ピカソは、「ゲルニカ」以降は絵画のみならず、彫刻、版画、陶器など多様な表現に挑戦した。
- ⑤ ピカソは、「ゲルニカ」の悲劇を、死んだ子どもを抱く母親や瀕死の馬などで象徴的に表現した。

|     |   |
|-----|---|
| (2) | 8 |
|-----|---|

- 【3】 生徒が制作をする上で、スケッチの活用は有効である。次の文は、「中学校学習指導要領解説美術編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い『スケッチの活用』」から抜粋したものである。(ア)、(イ)にあてはまる適切なものを①～⑧から選び、番号で答えよ。

スケッチは、大きく次の3点でとらえることができる。

- (1) 自然や人物、ものなどをじかに見つめて、諸感覚を働かせ、様々な(ア)から対象をとらえて描くスケッチ。
- (2) 見たことや思い付いたアイデアなどを描きとめ、(イ)を具体化するための発想や構想を練るスケッチ。
- (3) 伝える相手の立場に立って、伝えたい情報を分かりやすく絵や図に描くプレゼンテーションとしてのスケッチ。

- ① 計画      ② 視点      ③ 感覚      ④ 立場      ⑤ 発想      ⑥ 表現
- ⑦ イメージ   ⑧ イラスト

|     |   |     |    |
|-----|---|-----|----|
| (ア) | 9 | (イ) | 10 |
|-----|---|-----|----|

【4】色について、下の問いに答えよ。

(1) 色同士の組合せによって、色の見え方は変化する。色彩について書かれた文の(ア)～(オ)にあてはまる適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

色は、同じ色でも背景との(ア)によって違った色に見えたり、挿入された線の色に地の色が(イ)して違う色に見えたりすることがある。例えば、同じ緑の色は、背景を黄にすると補色の(ウ)方向の色相に近い緑に見え、背景を紫にすると補色の(エ)方向の色相に近い緑に見える。これを色相の(ア)という。また、水色の背景に明るい灰色の線を入れると、地は薄い水色になって見え、黒い線を入れると濃い水色に見える。これを(オ)の(イ)という。

- ① 彩度    ② 明度    ③ 黄緑    ④ 青緑    ⑤ 青紫  
 ⑥ 赤紫    ⑦ 類似    ⑧ 同化    ⑨ 対比    ⑩ 混色

|     |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| (1) | (ア) | 11 | (イ) | 12 | (ウ) | 13 | (エ) | 14 | (オ) | 15 |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|

(2) 次の文は、混色についての記述である。(ア)～(エ)にあてはまる正しい組合せを①～⑧から選び、番号で答えよ。

色光の三原色、(ア)の光を混ぜると明るさが増し、無色透明に近づく。それを(イ)混色という。テレビやコンピュータの画面を拡大すると、色光の三原色が確認できる。また、色料の三原色、(ウ)を混ぜると暗い色になり、黒に近づく。それを(エ)混色という。カラーの印刷物を拡大すると、色料の三原色の点が確認できる。

|   | (ア)           | (イ) | (ウ)           | (エ) |
|---|---------------|-----|---------------|-----|
| ① | シアン・マゼンタ・イエロー | 加法  | レッド・ブルー・グリーン  | 減法  |
| ② | シアン・マゼンタ・イエロー | 減法  | レッド・ブルー・グリーン  | 加法  |
| ③ | レッド・ブルー・グリーン  | 加法  | シアン・マゼンタ・イエロー | 減法  |
| ④ | レッド・ブルー・グリーン  | 減法  | シアン・マゼンタ・イエロー | 加法  |
| ⑤ | シアン・マゼンタ・グリーン | 加法  | レッド・ブルー・イエロー  | 減法  |
| ⑥ | シアン・マゼンタ・グリーン | 減法  | レッド・ブルー・イエロー  | 加法  |
| ⑦ | レッド・ブルー・イエロー  | 減法  | シアン・マゼンタ・グリーン | 加法  |
| ⑧ | レッド・ブルー・イエロー  | 加法  | シアン・マゼンタ・グリーン | 減法  |

|     |    |
|-----|----|
| (2) | 16 |
|-----|----|

(3) 次の文は、光についての記述である。(ア)、(イ) にあてはまる正しい組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

色が見えるためには光の働きは欠かすことが出来ない。太陽光をプリズムに通すと波長の長い順に(ア)、緑、(イ) に分光される。この一つ一つが単光色であり、帯状に並べたものをスペクトルという。人間が色として認識できる光は可視光線と呼ばれる。

|   | (ア)     | (イ)      |
|---|---------|----------|
| ① | 青紫、赤紫、紫 | 黄、黄緑、青緑  |
| ② | 黄、黄緑、青緑 | 青紫、赤紫、紫  |
| ③ | 黄、黄緑、青緑 | 赤、 橙、 黄  |
| ④ | 赤、 橙、 黄 | 青、 青紫、 紫 |
| ⑤ | 白、 黄、 橙 | 青、 紫、 黒  |
| ⑥ | 青、 紫、 黒 | 白、 黄、 橙  |

|     |    |
|-----|----|
| (3) | 17 |
|-----|----|

【5】 水墨画の授業に取り組む上で、材料や技法についての基礎的な知識をもつことは大切である。下の問いに答えよ。

(1) 次の文の (ア)、(イ) にあてはまる適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

墨とは (ア) という炭素の粉末を (イ) で固めたものである。墨の濃淡で色彩を表現することができる。

- ① 水      ② 膠      ③ 鉛      ④ 水干      ⑤ ばい煙  
 ⑥ 銅      ⑦ 漆      ⑧ 油      ⑨ 胡粉      ⑩ パール粉

|     |     |    |     |    |
|-----|-----|----|-----|----|
| (1) | (ア) | 18 | (イ) | 19 |
|-----|-----|----|-----|----|

(2) 次の (ア)～(エ) の水墨画の技法を説明した文として適切なものを①～⑧から選び、番号で答えよ。

(ア) 片隈

(イ) 積墨法

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

(ウ) 没骨法

(エ) 破墨法

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

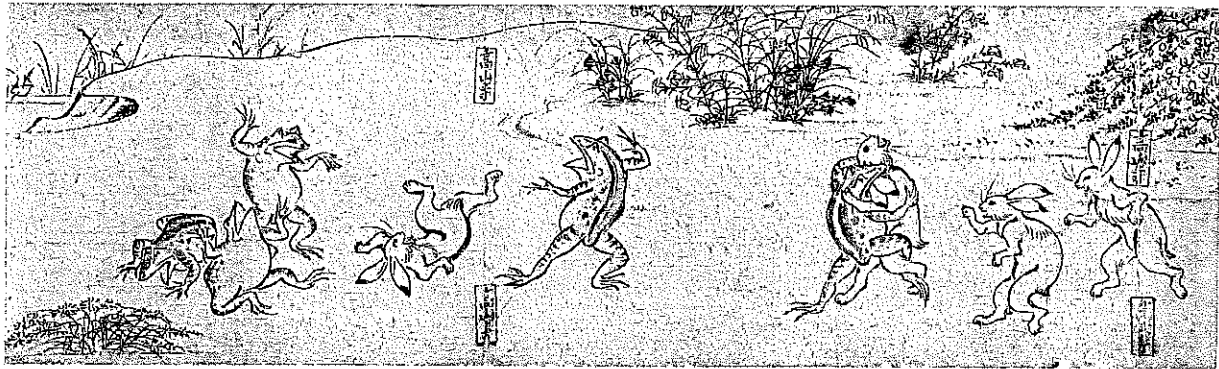
- ① 輪郭を描かずに墨の濃淡だけで対象を描く方法。
- ② 筆に濃墨をしっかりと含ませた後、穂先だけ水洗いをして描く方法。
- ③ 濃さの違う墨を重ねて描くことによって、立体感や質感を出す方法。
- ④ 筆の穂先を指でほぐし絵皿に押し当てるなどして穂全体を開かせて描く方法。
- ⑤ 筆の穂全体に淡墨をつけた後、穂先を平たくして穂の両側に濃墨をつけて描く方法。
- ⑥ 筆に淡墨をつけた後、濃墨を中まで吸わせて描く方法。
- ⑦ 線描きによって対象の形や質感を表現する方法。
- ⑧ 最初に描いた墨が完全に乾いてから、墨を重ねて描くことによって重厚感などを出す方法。

|     |     |    |     |    |     |    |     |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| (2) | (ア) | 20 | (イ) | 21 | (ウ) | 22 | (エ) | 23 |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|

(3) 次の絵巻物について描かれた文の(ア)～(エ)にあてはまる適切なものを①～⑧から選び、番号で答えよ。

日本の特徴的な絵画形式の1つである絵巻物は横長の紙や絹布に描かれたもので、12世紀前半から後半の平安時代に多く制作された。絵巻物では、物語は(ア)へ展開し鑑賞する。図『(イ)』は12世紀中頃に(ウ)が描いたと伝えられ、日本最古の漫画として評されている。甲巻は30.6×(エ)cmである。

図『(イ)』(甲巻部分)



|   | (ア)  | (イ)    | (ウ)  | (エ)    |
|---|------|--------|------|--------|
| ① | 右から左 | 鳥獣植物戯画 | 曾我蕭白 | 348.4  |
| ② | 左から右 | 鳥獣植物戯画 | 藤原隆章 | 1148.4 |
| ③ | 右から左 | 鳥獣人物戯画 | 鳥羽僧正 | 348.4  |
| ④ | 左から右 | 鳥獣人物戯画 | 一遍上人 | 348.4  |
| ⑤ | 右から左 | 鳥獣人物戯画 | 鳥羽僧正 | 1148.4 |
| ⑥ | 左から右 | 鳥獣動物戯画 | 鳥羽僧正 | 348.4  |
| ⑦ | 右から左 | 鳥獣動物戯画 | 藤原隆章 | 1148.4 |
| ⑧ | 左から右 | 鳥獣動物戯画 | 一遍上人 | 1148.4 |



【6】日本の伝統的工芸品について下の問いに答えよ。

(1) ガラス工芸品である江戸切子の「切子」とはガラスをどのようにする技法のことか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 溶かす    ② 接合する    ③ 色づけする  
④ 切る      ⑤ 削る

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

|     |    |
|-----|----|
| (1) | 25 |
|-----|----|

(2) 英語で「ジャパン」とも呼ばれている世界に誇る日本の伝統工芸品とは何か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 螺鈿      ② 漆器      ③ 陶器      ④ 磁器      ⑤ 和紙

|     |    |
|-----|----|
| (2) | 26 |
|-----|----|

(3) 兵庫の伝統的工芸品で、立てると中から豆人形が飛び出すしかけになっている筆で有名な地域はどこか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 有馬      ② 丹波      ③ 姫路  
④ 出石      ⑤ 明石

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

|     |    |
|-----|----|
| (3) | 27 |
|-----|----|

【7】美術の授業でも取り扱われるてん刻は、書や絵画などのサインとして使用されるだけでなく、それ自体が鑑賞の対象になっている。てん刻について下の問いに答えよ。

(1) 文字を凹状に刻したもの（字の中を彫ったもの）を何と言うか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 陽刻      ② 字刻      ③ 凹刻      ④ 陰刻      ⑤ 凸刻

|     |    |
|-----|----|
| (1) | 28 |
|-----|----|

(2) (1) において印泥をつけて押印したものを何と言うか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 陽文      ② 白文      ③ 朱文      ④ 陰文      ⑤ てん書文

|     |    |
|-----|----|
| (2) | 29 |
|-----|----|

【8】 目的に応じて美しく読みやすい文字をデザインするレタリングについて、下の問いに答えよ。

(1) 「永」の字は基本的な点画や筆づかいが使われていることから、何と呼ばれているか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 永字点画      ② 永字全点画      ③ 永字全筆      ④ 永字大全      ⑤ 永字八法

|     |    |
|-----|----|
| (1) | 30 |
|-----|----|

(2) サンセリフの「サン」は何を意味するか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ゴシック      ② 太陽      ③ 同じ太さ      ④ ない      ⑤ 平行

|     |    |
|-----|----|
| (2) | 31 |
|-----|----|

(3) 英文字などを並べてかく場合に大切なことは、文字と文字の間隔（字間）が全体を通して整って見えるように調整することである。このようにバランスよく文字を並べることを何と言うか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① スペーシング      ② ヘルベチカ      ③ ロゴ      ④ スクリプト      ⑤ ガラモンド

|     |    |
|-----|----|
| (3) | 32 |
|-----|----|

【9】 中学校美術の指導計画の作成と内容の取扱いについて、下の問いに答えよ。

(1) 次の文は、指導計画作成上の配慮に関する記述である。適切でないものを①～⑥から2つ選び、番号で答えよ。

- ① 各学校の指導計画の作成に当たっては、学習指導要領に示す美術科の目標及び内容についての的確に把握し、各学校の教育目標との関連を明らかにして、学習内容の確実な定着を図り、画一的に学習することができるようにすることが必要である。
- ② 各学年の内容の「A表現」と「B鑑賞」の指導については、それぞれの目標と内容を的確に把握し、独立させて指導計画をたてなければならない。
- ③ 〔共通事項〕の視点で指導を見直し学習過程を工夫することや、生徒自らが必要性を感じて〔共通事項〕の視点を意識できるような題材を工夫するなどして、形や色彩などに対する豊かな感覚を働かせて表現及び鑑賞の学習に取り組むことができるようにすることが大切である。
- ④ 「描く活動」とは、スケッチや絵、グラフィックなデザインなど平面上に描くことを主とするが、立体の表面に描くことも含まれる。
- ⑤ 第2学年及び第3学年では、より質の高い学習を目指すため、一題材に時間をかけて指導する必要がある。そのため、各学年において内容を選択して行うことが可能であり、2学年間ですべての事項を指導することとしている。
- ⑥ 「B鑑賞」の指導については、各学校が適切かつ十分な時数を確保しなければならない。その際、生徒や各学校の実態、地域性などを生かした効果的な指導方法を工夫することが求められる。

|     |    |    |
|-----|----|----|
| (1) | 33 | 34 |
|-----|----|----|

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」(平成20年3月告示)の抜粋である。(ア)～(オ)にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑩から選び、番号で答えよ。

2 第2の内容については、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 各学年の「A表現」の指導に当たっては、生徒の学習経験や能力、発達特性等の実態を踏まえ、生徒が自分の(ア)に合う表現形式や技法、材料などを選択し創意工夫して表現できるように、次の事項に配慮すること。

(中略)

- (3) (イ)を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標を持ち、自分のよさを発見し喜びをもって(ウ)を果たしていく態度の形成を図るようにすること。
- (4) 互いの個性を活かし合い協力して創造する喜びを味わわせるため、適切な機会を選び共同で行う創造活動を経験させること。また、各表現の完成段階で作品を発表し合い、互いの表現のよさや個性などを認め(エ)し合う活動をするようにすること。

3 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、(オ)における安全指導などを徹底するものとする。

- ① アレルギー    ② 表現意図    ③ アイデア    ④ 尊重    ⑤ 活動場所  
 ⑥ 自己実現    ⑦ 価値観    ⑧ 主体的表現    ⑨ 主題    ⑩ 議論

|     |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| (2) | (ア) | 35 | (イ) | 36 | (ウ) | 37 | (エ) | 38 | (オ) | 39 |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|

【10】中学校美術科を教える上で、小学校図画工作科とのつながりは大切である。次の文は、「小学校学習指導要領 第2章 第7節 図画工作」と「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術」（平成20年3月告示）に示された、B鑑賞における各学年の指導内容である。(1)～(5)にあてはまる適切な学年を①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

|     |    |
|-----|----|
| (1) | 40 |
|-----|----|

(2) 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。

|     |    |
|-----|----|
| (2) | 41 |
|-----|----|

(3) 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること。

|     |    |
|-----|----|
| (3) | 42 |
|-----|----|

(4) 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

|     |    |
|-----|----|
| (4) | 43 |
|-----|----|

(5) 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。

|     |    |
|-----|----|
| (5) | 44 |
|-----|----|

- ① 小学校1・2年    ② 小学校3・4年    ③ 小学校5・6年  
④ 中学校1年      ⑤ 中学校2・3年